

平成29年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月13日

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所 東
 コード番号 3195 URL http://www.genepa.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 洋明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)鈴木 智也 (TEL)03 (3343) 3544
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第3四半期の連結業績(平成28年11月1日～平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	5,825	21.6	73	△7.0	87	34.0	56	39.2
28年10月期第3四半期	4,791	—	79	—	65	—	40	—

(注) 包括利益 29年10月期第3四半期 55百万円 (37.4%) 28年10月期第3四半期 40百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第3四半期	6.84	6.82
28年10月期第3四半期	4.92	4.90

(注) 当社は、平成28年5月1日付けで普通株式1株につき普通株式4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第3四半期	2,333	1,605	68.8	194.70
28年10月期	2,182	1,548	71.0	187.94

(参考) 自己資本 29年10月期第3四半期 1,605百万円 28年10月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年10月期	—	0.00	—		
29年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の連結業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	30.7	130	56.6	130	94.0	88	95.6	10.67

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 第2四半期(累計)の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社 (社名)ー 、除外 ー社 (社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年10月期3Q	8,246,840株	28年10月期	8,246,040株
29年10月期3Q	400株	28年10月期	400株
29年10月期3Q	8,246,355株	28年10月期3Q	8,240,254株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、平成28年5月1日付けで株式1株につき株式4株の割合で株式分割を行いました。期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、円安傾向による欧州・米国向けの輸出増加や企業の収益が好調に推移している等、緩やかに回復しております。一方、設備投資拡大や雇用情勢の改善が見られるものの、米国の政策運営や欧州の政治情勢等による海外経済の不確実性もあり、依然として国内景気は先行き不透明な状況となっております。

当社グループが関連する小売市場におきましては、将来不安に対する個人消費者の節約志向や選別消費の傾向は依然として残るものの、緩やかな回復傾向にあります。

このような状況の中、当社グループは主力となる「ECマーケティング事業」につきまして、継続的なビッグデータの収集とその分析を進め、お客様の多様なマーケットニーズにお応えするための事業展開及びリコメン堂の店舗運営強化を推し進めてまいりました。EC店舗運営におきましては、平成29年7月31日時点における当社グループの出店数は49店舗となりました。既存モールにおきましては、人員の増員及び社内教育を実施し、当社独自の戦略でありますEC Platform Optimizationの強化を加速してまいりました。また、各店舗の取扱商品の見直し、ジャンル・カテゴリの整理及び当社オリジナルブランド「Simplus」の推進を行う等、集客と売上拡大を図り、継続的な増収傾向を維持しております。

商品企画関連事業につきましては、現生産拠点の品質管理手法の改善、不良率の低下及び新規生産拠点の視察等、売上及び利益の拡大に向けての投資と開拓を推し進めてまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、家具・寝具の販売が引き続き好調となり、売上高は順調に推移いたしました。

海外事業戦略につきましては、既存のBtoC戦略に加え、BtoB戦略を推し進めてまいりました。しかし、上海特区における運営母体の変更やBtoB販売での価格競争の激化により、当初計画していた売上高に対する進捗が遅れており、一部の在庫に関して商品評価損を計上することとなりました。

また、昨年度末に比較して円高基調から円安基調に転じていることにより、保有外貨建資産等におきまして為替差益10百万円が発生しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、5,825百万円と前年同四半期と比べ1,033百万円(21.6%)の増収、営業利益は、73百万円と前年同四半期と比べ5百万円(7.0%)の減益、経常利益は、87百万円と前年同四半期と比べ22百万円(34.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、56百万円と前年同四半期と比べ15百万円(39.2%)の増益となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

① ECマーケティング事業

当第3四半期連結累計期間における売上高は4,824百万円と前年同四半期と比べ905百万円(23.1%)の増収となりましたが、セグメント利益は122百万円と前年同四半期と比べ9百万円(7.3%)の減益となりました。

ECマーケティング事業の減益は、一部の在庫に関して商品評価損を計上したことによるものであります。

② 商品企画関連事業

当第3四半期連結累計期間における売上高は950百万円と前年同四半期と比べ112百万円(13.4%)の増収、セグメント利益は109百万円と前年同四半期と比べ39百万円(56.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円の増加となりました。

流動資産は2,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が204百万円増加し、商品が43百万円、売掛金が6百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、52百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェアが7百万円増加したことによるものであります。

(負債の状況)

負債は、728百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円の増加となりました。

流動負債は、718百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金が26百万円、未払金が18百万円、未払法人税等が11百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、10百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、リース債務が2百万円減少したことによるものであります。

(純資産の状況)

純資産は、1,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が56百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の通期の業績見通しについては、当第3四半期連結結果計期間の実績が見通しに沿って推移しているため、平成28年12月15日に公表した業績見通しから変更はありません。

なお、業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	734,692	939,345
売掛金	669,964	663,540
商品	655,805	612,408
繰延税金資産	13,209	19,712
その他	66,303	48,284
貸倒引当金	△3,990	△2,322
流動資産合計	2,135,985	2,280,969
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,438	7,438
工具、器具及び備品	5,297	5,972
リース資産	11,328	11,328
減価償却累計額	△7,250	△10,543
有形固定資産合計	16,814	14,195
無形固定資産		
ソフトウェア	15,131	22,803
その他	23	23
無形固定資産合計	15,155	22,827
投資その他の資産		
投資有価証券	10,486	11,035
繰延税金資産	1,126	1,015
その他	3,072	3,713
投資その他の資産合計	14,684	15,764
固定資産合計	46,655	52,787
資産合計	2,182,640	2,333,757
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	368,092	394,811
リース債務	2,540	2,647
未払金	212,921	231,706
未払法人税等	17,661	29,394
賞与引当金	—	7,554
その他	20,734	52,037
流動負債合計	621,949	718,151
固定負債		
リース債務	7,920	5,890
資産除去債務	4,149	4,164
固定負債合計	12,069	10,055
負債合計	634,019	728,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	624,387	624,457
資本剰余金	613,387	613,457
利益剰余金	312,103	368,535
自己株式	△169	△169
株主資本合計	1,549,707	1,606,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,086	△729
その他の包括利益累計額合計	△1,086	△729
純資産合計	1,548,620	1,605,550
負債純資産合計	2,182,640	2,333,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	4,791,825	5,825,439
売上原価	3,478,326	4,212,807
売上総利益	1,313,499	1,612,631
販売費及び一般管理費	1,234,016	1,538,686
営業利益	79,483	73,945
営業外収益		
受取利息	101	4
為替差益	—	10,387
助成金収入	1,598	2,100
受取手数料	1,420	—
受取保険金	1,675	1,540
その他	242	115
営業外収益合計	5,037	14,147
営業外費用		
支払利息	201	398
為替差損	18,895	—
その他	—	40
営業外費用合計	19,096	438
経常利益	65,424	87,653
特別利益		
固定資産売却益	608	—
特別利益合計	608	—
税金等調整前四半期純利益	66,032	87,653
法人税、住民税及び事業税	28,704	36,118
法人税等還付税額	△1,707	—
法人税等追徴税額	1,116	1,687
法人税等調整額	△2,610	△6,583
法人税等合計	25,502	31,221
四半期純利益	40,529	56,431
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,529	56,431

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	40,529	56,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△729
その他の包括利益合計	—	△729
四半期包括利益	40,529	55,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,529	55,702
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,918,837	838,829	4,757,666	34,159	4,791,825	—	4,791,825
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,918,837	838,829	4,757,666	34,159	4,791,825	—	4,791,825
セグメント利益	131,770	69,600	201,371	18,443	219,815	△140,332	79,483

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及び思い出事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△140,332千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,332千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ECマーケ ティング 事業	商品企画関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,824,584	950,947	5,775,532	49,906	5,825,439	—	5,825,439
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,824,584	950,947	5,775,532	49,906	5,825,439	—	5,825,439
セグメント利益	122,123	109,051	231,174	11,564	242,739	△168,794	73,945

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及び思い出事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△168,794千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△168,794千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。